

JP1/AJS3 具体的なトラブル事例と対処法 11 選

■ 資料概要

この資料では、JP1 ジョブ管理ツール(JP1/AJS3)をご利用中の方むけに、ジョブ管理のトラブル事例とその対処方法をご紹介します。弊社サポートセンターに蓄積されたナレッジの中から、特にお客様からの問い合わせが多いものや、業務影響度の高いものを抜粋してお届けします。

■ こんな方におすすめです

- ・ JP1 運用担当でジョブ管理のエラーについてお困りの方
- ・ 都度サポートセンターに問い合わせなくても良いよう、手元にトラブル対処法を置いておきたい方

■ 目次

1. 弊社紹介
2. JP1/AJS3 トラブル事例と対処法 11 選
3. 早期解決につながるエスカレーションのポイント

(参考)本資料でご紹介するトラブル事例

カテゴリ	トラブル事例
ジョブ動作環境に関するトラブル	“KAVU4571-W エージェント(エージェントホスト名)でユーザマッピング(JP1 ユーザ名)に失敗しました”というメッセージが出力され、ジョブが異常終了
	ジョブが終了コード : 128 または、 -1073741502 で異常終了
	ジョブ実行のピーク時間帯に“KNAC0604-W TCP/IP 通信でエラーが発生したためリトライします”という警告メッセージが表示され、ジョブ実行に遅延が発生
	JP1/AJS で実行したジョブのプロセスに長時間 CPU が割り当てられず、ジョブ実行に遅延が発生
ジョブ実行環境に関するトラブル	ユニット制御コマンド(ajsentry、ajsplan の-w 付き)実行時に、1 以上のリターンコードで処理が異常終了
	ジョブ実行時に、ジョブ実行制御エージェントプロセス「jqagnt」が CPU を占有。及び、JP1/AJS3 が利用するメモリが増大し、ジョブ実行の開始が遅れる事象が発生
	ジョブ実行のピーク時間帯に、ジョブネットは予定時刻に開始されたが、配下の標準ジョブ(PC ジョブ・UNIX ジョブ)の実行が遅れが発生
データベースに関するトラブル	ジョブ実行やユニット制御コマンド実行時に、“KAVS0988-E 表領域またはRDAREAに空きがありません”というエラーメッセージが出力され、新たに予定生成されない事象や実行登録できない事象が発生
	JP1/AJS3 View 接続やユニット制御コマンド (ajsentry、ajsplan の-w 付きなど) 実行時に、“KAVS0982-E サーバ側の設定値の上限を超えたためデータベースに接続できませんでした”というエラーメッセージが出力され、JP1/AJS3 Manager に接続できない事象やコマンドが異常終了
	ユニット操作コマンド (ajsdefine など) 実行時に、“KFPS01220-E システムログのスワップ要因が発生しましたが、スワップ先のできるシステムログファイルがありません”というエラーメッセージが出力され、ユニット操作コマンドが異常終了
	ユニット操作コマンド (ajsdefine など) 実行時に、“KAVS0902-E メモリ不足が発生しました”というエラーメッセージが出力され、ユニット操作コマンドが異常終了する事象が発生

資料は必要情報のご入力後、すぐにダウンロードいただけます。
ぜひお役立てください。

資料をダウンロード ▶

